第 56 期中央労働講座に参加して

関東地方横浜支部
書記長 木村 貴弘

今回の労働講座は、地方、支部の書記長クラスが対象ということで、参加させて頂きました。

講義の中身は、国の港湾政策で影響を受ける事業、労働環境に対し先輩方がどのようにたかって来たか、産別協定や事前協議制度の重要性を学び、仲間の雇用職域をどのように守るか、少子高齢化で、労働人口も減り組合離れがすすむなか、これからの組織運営、組織強化をどのようにしていくのかを目的とし各地方、支部の仲間たちと議論してきました

先輩方の時代とは社会情勢や労働環境が変わって来ていますが、国の政策によって、事業の縮小、雇用、職域が脅かされることはあってはならないことだと思います。

港湾には産別協定や事前協議制度があるので、活用して港湾秩序を乱す事はさせてはいけないと思います。それには自らが学び経験して強くなり、仲間と共に組織を強くして、これからの世代に繋げなければ組織強化にもならないと思いました。

第 56 期中央労働講座に参加された皆さん。短い 3 日間でしたがありがとうございました。